


農学部研究シーズ2014

所属・職・氏名	共同獣医学科・准教授・落合 謙爾	
紹介する研究シーズ名	心筋症の病態モデル	
キーワード	トリ白血病、グリオーマ、心筋横紋筋腫	

シーズの「売り」は！！

心筋症とウイルスとの関連を探る

レトロウイルス科の鶏白血病・肉腫群ウイルスは古くからがん研究の実験材料として活用され、癌遺伝子の発見などに貢献してきました。これらのうち、トリ白血病ウイルス（ALV）は赤芽球症，骨髄芽球症，腎芽種などさまざまな種類の腫瘍や成長遅延を引き起こします。最近、わが国の在来種、日本鶏からグリオーマや心筋異常を引き起こす ALV が分離されました。分離株はゲノム解析によって既知のウイルスではなく、ALV 間の遺伝子組換えによって新たに出現したことがわかりました。また、このウイルスは高率に心筋の形成異常を誘発することが明らかになり、ヒトレトロウイルスとの関連が疑われているヒトの難治性疾患、混合型心筋症の理解に役立つと考えています。

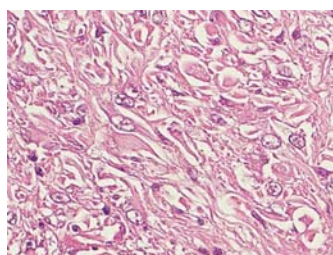


写真1 グリオーマ



写真2 心筋異常

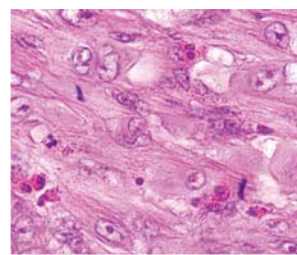


写真3 肥大した異型心筋線維

【研究シーズの応用例・活用分野・展望】

心筋症発症を抑える分子標的薬の開発、トリ白血病（リンパ性白血病）のワクチン開発

関連特許・関連資料等

PLoS One 9, e86546, 2014